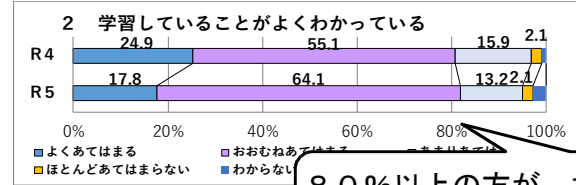
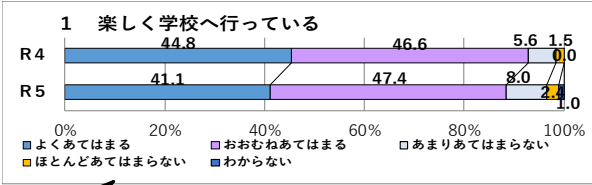


お子様に関する項目について

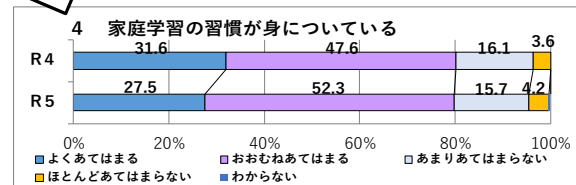
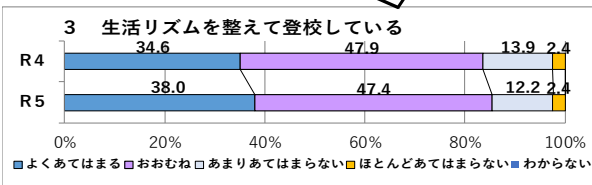


肯定的な意見が昨年度とほぼ同じで、9割程度あります。安心しました。

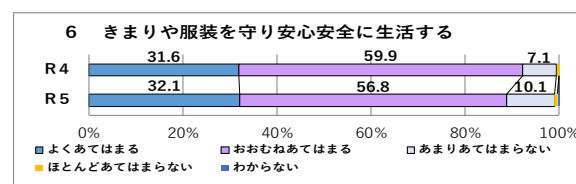
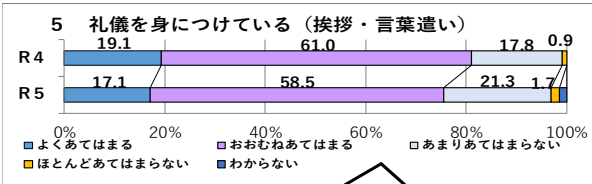
早寝、早起き、朝ごはんへの取り組みが、実践されている表れではないでしょうか。

家庭学習は、家族の方のご協力なしには定着しません。学習環境を整えていただいているお陰だと思えます。

80%以上の方が、肯定的なとらえ方をしています。お子さんの学習の様子をよく見てくださっていることに感謝します。



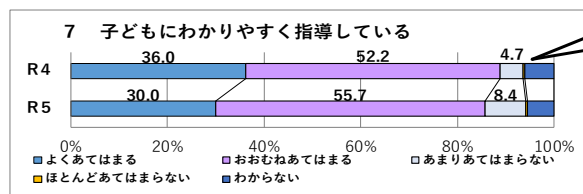
学校生活の充実のためには、日々の学習への取り組み、生活リズムを整えることは欠かせません。肯定的な意見が多いのは、ご家庭の家庭学習へのご協力のたまものだと思います。タブレットでの学習も定着しつつあります。ますます、ご家庭と密に連絡を取り合い、家庭学習を進んで行き、学力が定着できるよう努めていきたいと思えます。今後もさらなるご協力をお願いします。



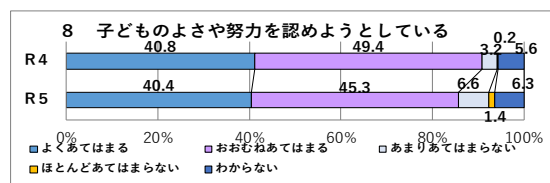
8割程度の児童が「できている」ようですが、まだまだ足りないようです。学校でも度々声かけをしていますので、ご家庭でも引き続きあいさつや会話についてご指導いただきたいと思います。

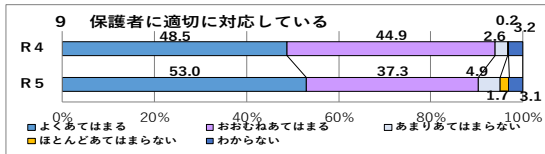
学校が、人との関わり、集団生活のルールやマナーを学ぶ場であることは、大人になってうまく社会生活を送るための練習期間だと捉えています。決まりを守る、学習規律を身に付けるなどの基本を大切に、人とうまく関わっていける児童を目標にしています。服装や学用品の準備等についてもご家庭の協力をお願いします。

先生に関する項目について



わずかですが、「よくあてはまる」が増えています。お子さんの学習の進み具合をよく見てくださっているのありがとうございます。これからも、お子さんのつまずきに目を配り、支援していきたいと思えます。

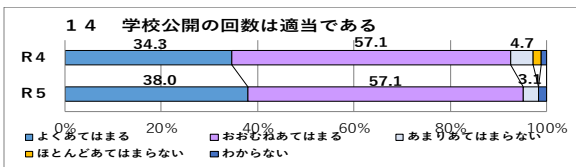
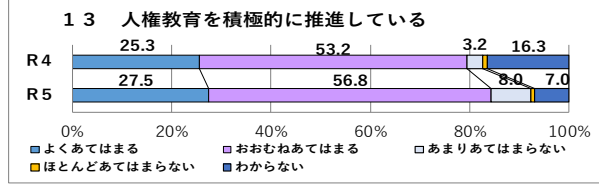
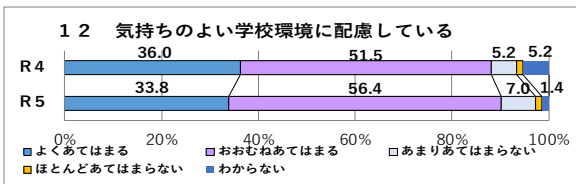
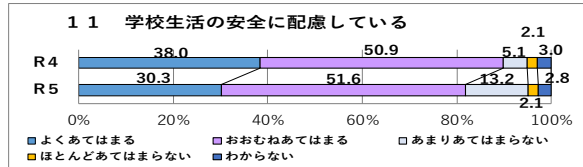
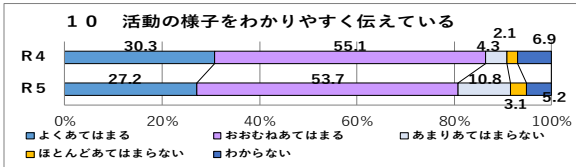




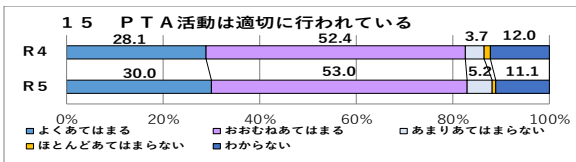
9割以上の方が、肯定的にとらえています。そうでない方のご意見も大切にして、真摯に対応していきたいです。

今年度は、感染症予防のための学習形態の制限も随分緩和されました。グループ活動や直接体が触れる活動、歌唱や楽器の演奏、調理実習などが再開されました。そのため、児童間の関わりを元に戻せるよう、話し合い活動のルールや表現力が身に付くような工夫に力を入れてきました。同時に、個々のつまずきにも注意をはらってきました。その日々の積み重ねが、少しずつ成果としてあらわれているのではないかと思います。保護者の皆様との連絡は今後もしっかりとりながら連携を深めていきたいと思ひます。

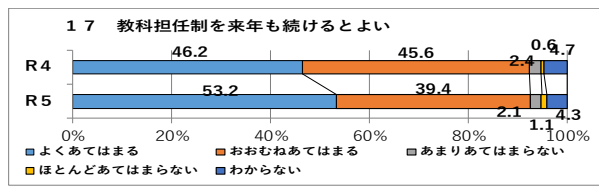
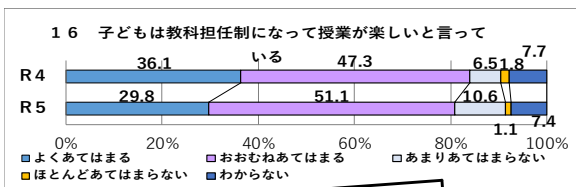
学校に関する項目について



今年度も、家庭訪問が学校での個人懇談になりましたが、参観日は昨年より増えました。感染予防のための学級閉鎖や個人的なお休みの日数も制限が緩和されたため、登校できる日が確保できました。マチコミメール・ホームページ等をたくさんの保護者の方が利用してくださったおかげで、連絡がスムーズに行えたり、学校生活の子どもたちの様子を細かくお伝えできたりしました。PTA活動の制限はありましたが、ご理解ご協力ありがとうございました。



教科担任制について（5・6年保護者のみ）



16・17共に、昨年に比べて肯定的な意見が増えています。今年度は教科担任制試行の4年目が終わり、3年間の積み重ねを大切に、また、反省をもとに教科の専門性をより生かせるよう教材研究を強化してきました。来年度も引き続き、さらにより形態になるよう来年度に向けて構想していきます。

今年度は、学校や教員に対する意識を尋ねた項目で「よくあてはまる」、「おおむねあてはまる」を合計した数値が多く項目で昨年度を上回りました。とくに項目7・8・14・16・17では、コロナ禍での学習活動や生活面の充実を図ってきたことをご理解いただいているのだと感謝します。学級閉鎖や休み中のご家庭での過ごし方にも、ご心配ご苦勞をおかけしました。タブレット PC 活用については少しずつ環境が整いつつあり、ご協力に感謝します。学力向上のためには、ご家庭のご理解とご協力は欠かせません。今回の結果を心にとどめ、来年度へ向けて取り組んでいきたいです。